

経営比較分析表

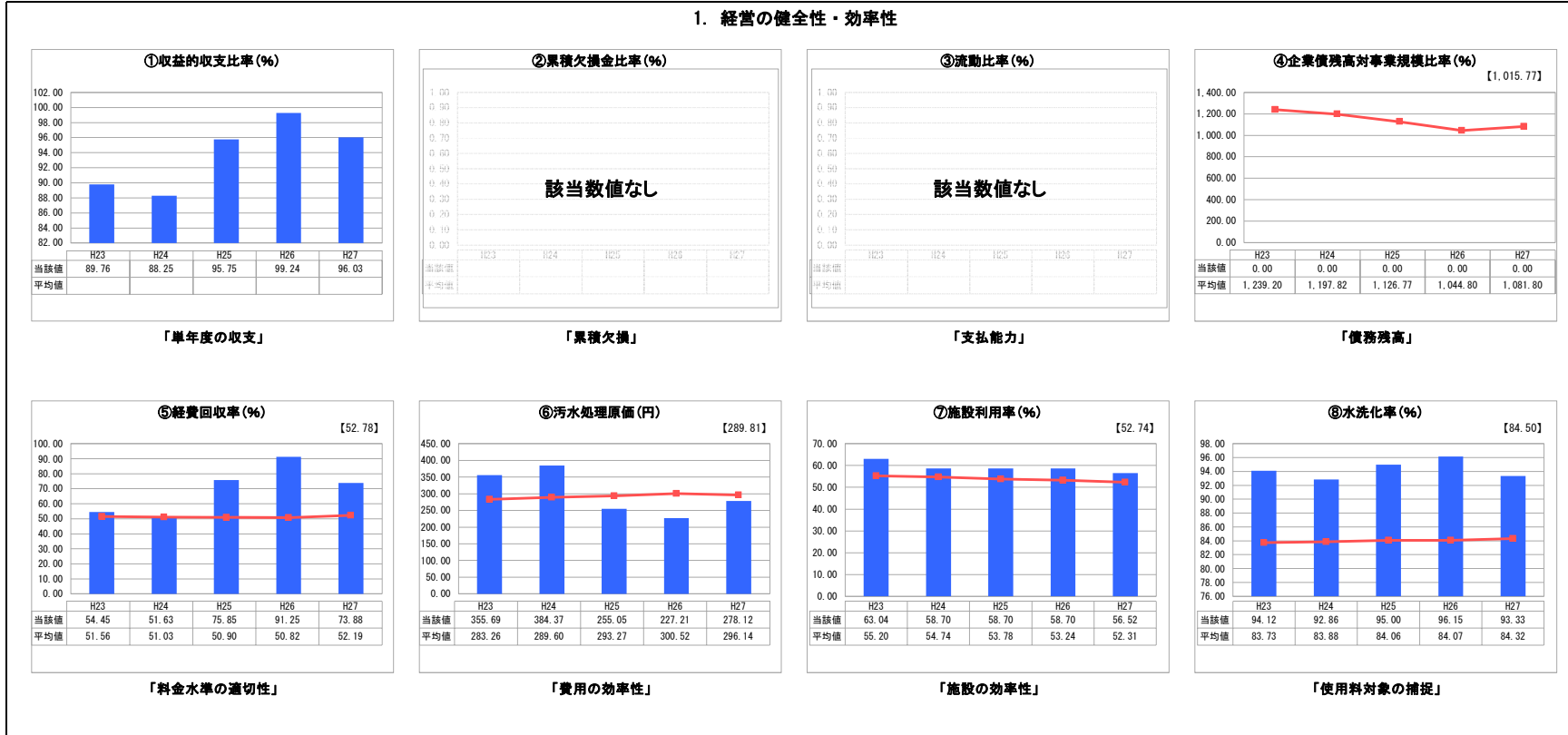
山梨県 富士川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.47	90.00	4,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,916	112.00	142.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
75	0.20	375.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・単年度収支については、総収益は横ばいであるものの、平成27年度は設備の更新工事等により費用が増えた為、収益的収支比率は、昨年より減少している。また、経費回収率についても同様である。今後は区域内処理人口が減少傾向にあり、使用料収入が減っていくことから、施設・設備の維持管理費用などの財源確保がより一層重要となる。

2. 老朽化の状況について

・機械設備の更新は、改修及び更新時期に行っているが、毎年管路調査を実施しているため、大きな損傷がないことから、これまでも管路更新工事を実施していないので改善率が低い状況である。今後は、管路の老朽化が考えられるので、管路及び処理場の長寿命化を検討する必要がある。



全体総括

・経営の健全性及び効率性について、区域内の世帯数(人口)の減少により、現在使用料以外の収入がないことから維持管理の効率化を図る必要がある。

・老朽化対策については、供用開始から20年経過していることから、機械設備の更新及び管路の老朽化が考えられるので、管路及び処理場の長寿命化計画を策定し施設等の長寿命化を進める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管路改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。